

วารสาร กรุงเทพฯ

クンテ-ブ。

2019 MAR  
VOL 27 (613)



泰国日本人会

วารสารกรุงเทพฯ ฉบับประจำเดือน มีนาคม 2562



vol.3 カラシン県

ラー族の文明の故地カラシン  
恐竜の発掘現場で太古に触れ  
絹織物プレーワアの華やぎに酔う



特集  
Open to the New Shades  
拡大版

①



②



④



③

①黄昏時のワット・ブッタニミット仏塔  
②2000年前に作られたと言われる  
プラ・ブッタサイヤート涅槃仏(提供:  
タイ国政府観光庁) ③3体の大きな仏  
像の一つ ④ワット・ブッタニミット仏  
塔内。人がとても小さく見える

名刹を歩く

ワット・ブッタニミット (ワット・プーカオ)

孔雀と鹿の住む森と2000年前に作られた涅槃仏

ワット・ブッタニミットの仏塔は熔岩を使っているカンボジア系の様式。塔内はほの暗く、仏像やレリーフなどで壁を覆われており、神秘的な雰囲気になっています。塔の外には大きな涅槃仏、立像、座像が3体も鎮座しており、その大きさに呆然としてしまうほど。

岩に刻まれた涅槃仏プラ・ブッタサイヤートは2000年以上前に作られたと言われており、左手を下にした珍しいポーズの仏像としても有名です。私たちが訪れた時にはあたりは真っ暗で、あまり周りがよく見えませんでした。敷地内には孔雀と鹿の住む森があるそうで、その自然豊かなロケーションもこの寺院の魅力の一つです。

■タイ国政府観光庁HP:

<https://www.thailandtravel.or.jp/wat-phu-kao/>



太古の自然・恐竜の今に会う

## シリントーン博物館

タイ有数の恐竜博物館はカラシンにあった！

自然史に造詣の深いシリントーン王女の御名を冠したこの博物館では、恐竜（タイ語はそのままダイナソー）以外にも地球の誕生と宇宙、生物の進化と人類の誕生などが展示されています。実はタイでしか発見されていない恐竜が9種あって、ここではそのうち5種の化石やレプリカを見ることができます。この地で発見され、新種の大形恐竜として認められた「プウィエンゴザウルス」のほぼ全身に及ぶ骨格標本や、実際の化石発掘現場をそのまま保存展示しているエリアは、この博物館の大きな見どころで、恐竜好きでなくともその迫力に圧倒されることでしょう。また、館内には化石を調査する研究室があり、運が良ければ研究者たちの作業を間近に見られることも。日本の福井県立恐竜博物館と姉妹博物館提携を結び、共同研究や展示品交流なども行っています。

■HP（英語）

[http://www.dmr.go.th/main.php?filename=MST2015\\_\\_EN](http://www.dmr.go.th/main.php?filename=MST2015__EN)



①「シャムの暴君」と呼ばれるシャモティラヌス ②ほぼ完全な恐竜の個体の化石発掘現場も間近に見ることができる ③大迫力の骨格標本も多数 ④博物館の建物の前にもお馴染みの草食恐竜が



絹織物プレーワーをまとった女性が手にしているのは登の餌になる桑の葉

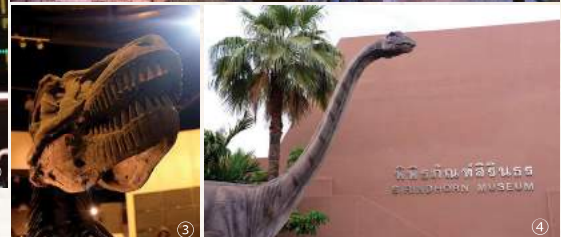
タイ国政府観光庁の取材協力のもと、東北部のカラシン県をご紹介します。カラシン県の歴史は古く、今から約1600年前、ラワー族と呼ばれる人々が定住し文明が栄えたと言われており、現在の人口は約100万人です。県名の「カラシン」とは「黒い水」という意味で、県章にも山を背景とした黒い池がデザインに使われています。質の高いシルクの名産地としても有名ですが、近年は恐竜の化石が多く発掘される地としても注目を集めています。



連載第3回目は前回に引き続き、タイ国政府観光庁の取材協力のもと、東北部のカラシン県をご紹介します。カラシン県の歴史は古く、今から約1600年前、ラワー族と呼ばれる人々が定住し文明が栄えたと言われており、現在の人口は約100万人です。県名の「カラシン」とは「黒い水」という意味で、県章にも山を背景とした黒い池がデザインに使われています。質の高いシルクの名産地としても有名ですが、近年は恐竜の化石が多く発掘される地としても注目を集めています。

### ACCESS

首都バンコクから北東に519キロ、車で約7時間。バンコクから直通の長距離バスも運行中。コンケンなど近県まで飛行機で行く方法も。ただし、現地での移動は公共交通機関は限られているので、ホテルなどで運転手付きワゴン車を手配する方法が便利でしょう。







①着物の帯のような風格の「プレーワー」 ②織るときに見えるのは裏面。難易度が高い ③食欲旺盛な蚕。桑を食む音が聞こえる ④印象的な赤色はクランという小さな虫由来の染料で染める ⑤タイの繭は黄色くて日本の繭より細長い ⑥白い糸は一般的なタイ蚕とは別品種の蚕で飼育が難しい ⑦糸になるまでには多くの工程をふむ

## 「プレーワー」とシリキット王妃

村の織物が世界に評価されるようになった理由

現在は「プレーワー」と呼ばれるプータイ族の絹織物。プータイの女性の正装は黒地の上着の上から「サバイ」と呼ばれる肩掛けをするスタイルです。このサバイは、赤が基調の精密で美しい幾何学模様を織り込んだシルクの帯（おび）で、これが本来プレーワーと呼ばれるものでした。かつて、シリキット王太后（当時は王妃）がバーンポーン村を初めて訪問した際、村の人々は王妃の足元を汚してはいけなと、美しく織られたサバイを絨毯代わりに敷いて歓迎しました。しかし、これを目にした王妃はこれを踏むのをためらわれ、手に取ると「なんと美しい…」とおっしゃると、その後、この織物を巻きスカートなどにもできるよう幅を広げるように勧め、その後も自ら熱心に保護・奨励活動を進められたそうです。今ではプレーワーは数あるタイシルクの中でも最も高級な織物のひとつとして高く評価されるようになりました。

## 絹の里を訪ねる

### シルクの村バーンポーン

精緻の美にため息！プータイ族の絹織物の工程を見学

プータイ族の村、バーンポーン村はタイシルクの中でも高品質な絹の産地として世界的にも評価されています。職人は約500人とされており、村の多くの女性が副業として仕事や学業の合間に絹製品作りに携わっています。その技術を伝承するために学校の授業にも取り入れられ、地域で守られ大切に継承されているそうです。

養蚕や製糸、染色の作業を見学すると、想像以上に手間暇がかかっていることに驚愕しますが、7kgの繭からできる生糸は1kgと少なく、天然由来の染料の扱い、その後の機織り作業（一日に織れるのは15cm程度）などさらに時間と手間かかることを知り、美しい一枚の絹の姿ができあがるまでの膨大な作業と熱意に、畏敬の念を抱かずにはいられません。

■タイ国政府観光庁HP：<http://ur2.link/Pyq3>



伝統的な祭りにイサーンの心を知る

ブン・クーン・ラーン祭

稲で社を作る収穫祭



①例年1月には稲を積み上げて作ったこんなお社を見ることができます(提供:タイ国政府観光庁)  
②12月はまだ未完成でした



③まずはみんなで刈り取った稲を揃えて束にまとめていきます



東北地方におけるポーソップという米の神様に収穫を感謝するため行事で、稲穂がついたままの稲で社を作ります。「ブン」は「増やす」、「ラーン」は「稲を刈り取る広場」という意味で、「できあがった米を積み上げることを指しています。一般的に毎年1月に行われますが、日程は地域によって異なり、最近では観光客向けにこの「稲の社」をシーズン外でも展示している場所もあります。実った稲のついたままの稲穂を束ねて使うので、しきりに雀がついばんでいましたが、そこはやっぱりマイペンライであまり気にしないようです。

■タイ国政府観光庁HP:

<https://www.thailandtravel.or.jp/bun-khun-lan-ceremony/>

ローカルな夜市を味わう

タラート・ローンシー

ほっと一息タラート散策

土曜日のライスミールマーケットこと「タラート・ローンシー」はローカルな市場らしく、ほどよい大きさと混み具合で、買い物をしなくてもあちこちから聞こえてくる音楽を楽しんだり、露店を覗くだけでもイサーンの夜を堪能できます。虫料理にはいつかチャレンジしたいと思いつつも、今回は写真だけ撮らせてもらいました。

鉄板で鮮やかな手さばきで焼かれるヌーイグローブは、パリパリと薄いクレープのようなお菓子。シンプルでありながら繊細な味わいに手が止まりません。ロティ・ダイナソーは揚げたシュー生地のような恐竜が、おなじみタイ式鶏卵素麺フォイトーンの巣に納まったこってり甘いデザートでした。

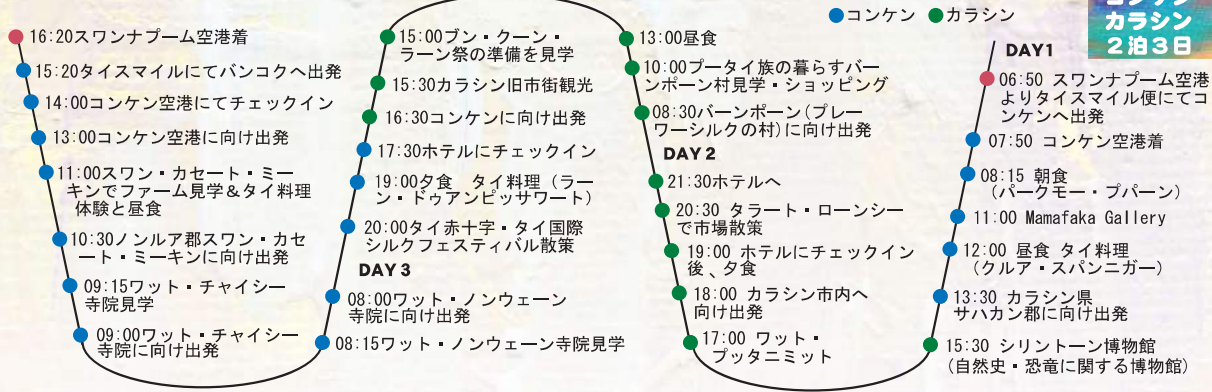
■住所: 101 Theenanon Rd, Amphoe Mueang Kalasin, Chang Wat Kalasin 46000



①バタークリスピーと洒落た英名もついていたヌーイグローブ ②ロティ・ダイナソーに持参したろうそくを立て誕生日祝い ③イサーン名物のひとつ虫のスナック ④ほどよい広さの土曜市。人出の具合もちょうどいい ⑤市場の看板



先月号で紹介したコンケンと今月号のカラシは隣同士。コンケン空港を利用して二つの県を旅する2泊3日。週末旅行にぴったりのモデルコースです。



# クルンテープ

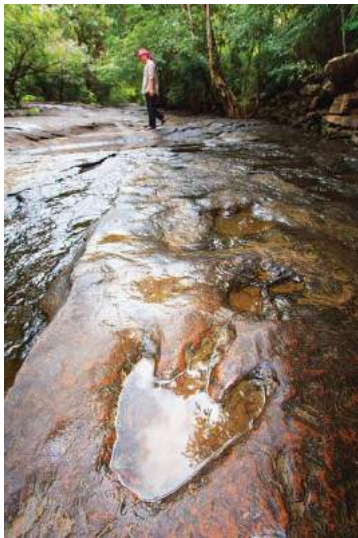
2019 March  
VOL 27 (613)



P21



P24



表紙：プーフェーク森林公園の  
約1億4000万年前の恐竜の足跡  
場所：カラシン県ナーケー郡

プーフェーク森林公園内で発見された大型肉食恐竜の足跡！七つ見つかっており、そのうちの四つはハッキリと形を見てとることができます。足跡の周辺には柵やカバーもなく、いわばむき出しの状態。直に恐竜の足跡を観察することができます非常に貴重な場所として注目されています。恐竜博物館として知られるシリントーン博物館から東に60kmとやや距離はありますが、恐竜好きは訪れるべき聖地と言えるかもしれません。

写真提供／タイ国政府観光庁  
Copyright of The Tourism Authority of Thailand

## 3月号 目次

### 【特集】

- 0 2 **Open to the New Shades拡大版 vol.3 カラシン県**  
**ラー族の文明の故地カラシン**  
**恐竜の発掘現場で太古に触れ**  
**絹織物プレーワールの華やぎに酔う**

### 【活動報告】

- 1 4 ミャンマー最後の桃源郷カレン州パアン写真撮影旅行 後篇  
【文化部】クルンテープ写真倶楽部

### 【学校だより】

- 1 6 小学1年生の校外学習  
**ラム9世公園に行ってきました**  
バンコク日本人学校 小学部1学年主任 岩村倫代
- 2 1 小学2年生の校外学習  
**B T S・M R Tに乗って**  
バンコク日本人学校 小学部2学年主任 山根 聡

### 【作品発表】

- 0 7 メナム句会  
0 8 バンコク短歌会

### 【連載】

- 1 2 河の都アユタヤー レヌカー・M  
ラーマティボディー2世の宮廷(2)
- 2 6 タイのお菓子は二度おいしい ムシカシントーン小河修子  
お餅にとろーりココナッツシロップ、香ばしい煎り米がアクセント  
カノム・ニアオ



P26

### 【広報欄】

- 0 9 理事会議事録(1月度)
- 1 9 バンコク子ども図書館 3月の新着本紹介
- 1 9 日本人会定期総会のお知らせ
- 2 0 ゴルフ部月例会成績
- 2 0 編集後記
- 2 4 **すくすく会通信 Vol.11**